

参考資料 1

令和 6 年度糖尿病性腎症重症化予防事業協力依頼について [概要]

【目的】

糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつけるとともに、糖尿病性腎症で治療中の患者のうち、重症化するリスクの高い通院患者に対して保健指導を行い、人工透析への移行を防止することで、健康増進及び医療費の適正化を目指します。

【対象】

川越市国民健康保険に加入する被保険者のうち「受診勧奨対象者」及び「生活指導対象者」「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」によって選出。

【内容】

- ①レセプト及び健診結果から生活習慣病が重症化するリスクの高い未受診者、治療中断者を抽出し、医療受診を勧奨する。【受診勧奨】
- ②通院中で生活指導が必要な者(データから病期が 2~4 期と推定される患者)を抽出し保健指導を実施する。【保健指導】

※主治医が生活指導を含めた総合的な治療管理を行い、生活習慣病管理料を算定している患者は対象としない。

医師会様への依頼事項

- 1 共同事業に協力いただける医療機関の選定(4月25日(木)まで)
- 2 事業参加医療機関への説明資料の配布協力

事業参加医療機関様への依頼事項等

- 1 市から送付された候補者名簿一覧から、保健指導の対象者を選定する。
*候補者名簿一覧にない患者様であっても保健指導の対象者として推薦することも可能。(6月10日まで)(謝金:選定人数にかかわらず、かかりつけ医様ごとに一律10,000円)
- 2 「謝金振込先口座指定依頼書」のご記入(6月10日まで)
- 3 申込みのあった対象者の「糖尿病保健指導指示依頼書」のご記入(7~8月頃)
(謝金:指示依頼書の記入1~4人までは人数にかかわらず一律10,000円、5人目から1人につき2,500円を加算します。)

※保健指導の実施は委託企業が実施し、その経過等はかかりつけ医様に共有いたします。

※事業にご協力表明された場合でも、患者様の状況によっては対象者が存在せず、謝金が発生しない場合もございます。予めご了承下さい。

糖尿病保健指導指示依頼書

令和 年 月 日

様

医療機関名

主治医

印

(フルネームでのご署名と押印をお願いします)

下記のとおり保健指導を依頼します。

患者 氏名		生年 月日		性別	
住所					

保健指導に関する指示事項

↓該当する場合は、✓(チェック)をお願いします。

糖尿病性腎症患者に対して、「糖尿病診療ガイドライン」(日本糖尿病学会)
及び保健指導プログラムのとおり実施することが適当である。

※I型は対象外となります。

(任意) 上記の他、留意することがある場合のみ、ご記載いただける範囲でご記入下さい。

例えば、合併症の状況、運動・塩分制限、摂取カロリー等 ※楷書にてご記入下さい。

(任意) 最新の検査値がございましたら可能な範囲でご記入下さい。

[検査日：令和 年 月 日現在]

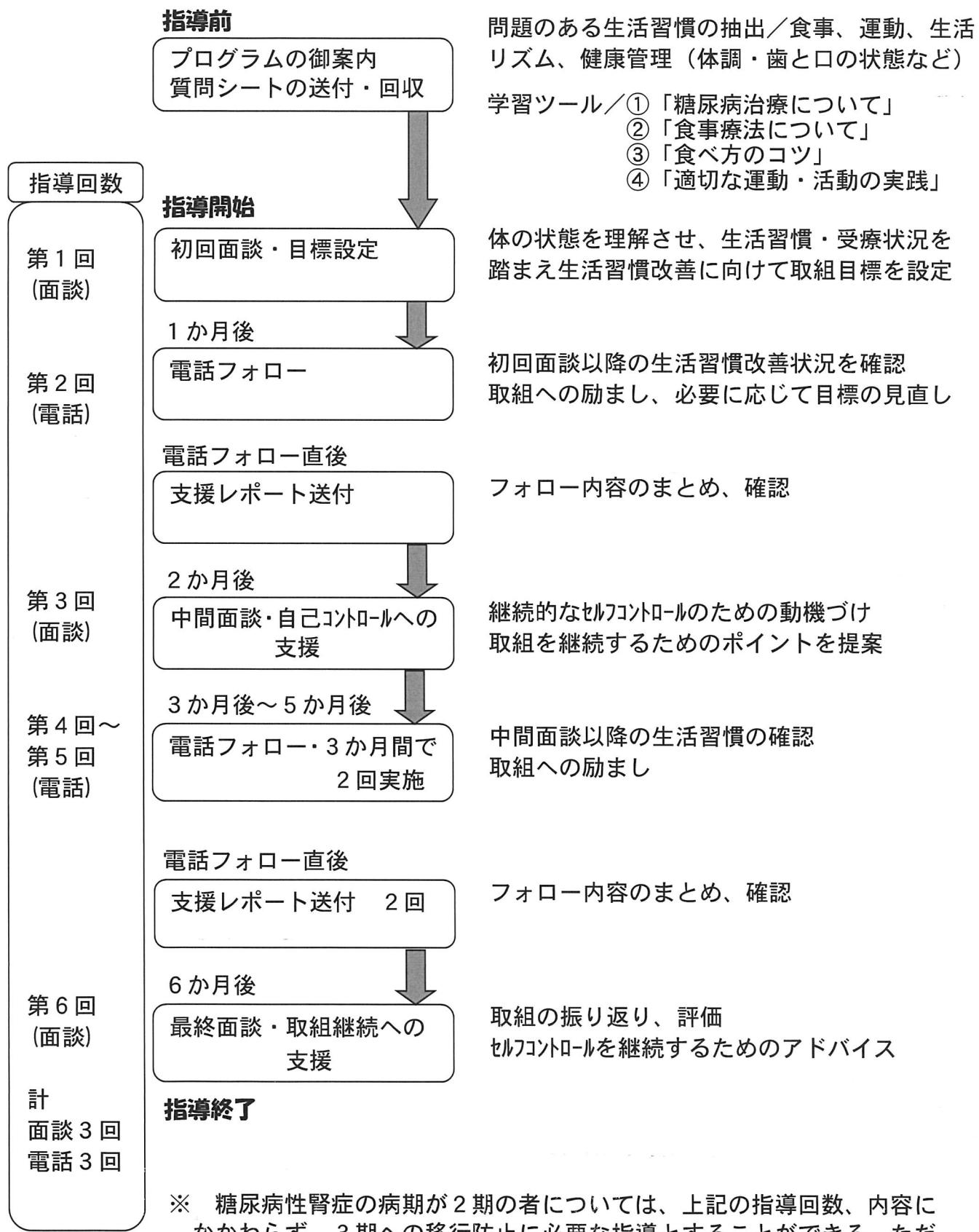
身長	体重	クレアチニン	収縮期血圧	拡張期血圧
cm	kg	mg/dl	mmHg	mmHg
HbA1c	eGFR	尿中微量アルブミン	尿蛋白(定性)	空腹時血糖・随时血糖
%	mL/min/1.73 m ²	mg/L	- + 2+ 3+	mg/dl

検査値等の個人情報の提供については、プログラムへの参加同意書にて患者本人より同意を得ています。



2023_H_111_0000111

糖尿病性腎症患者に対する保健指導プログラム



※ 糖尿病性腎症の病期が2期の者については、上記の指導回数、内容にかかわらず、3期への移行防止に必要な指導とすることができる。ただし、面談1回は必ず行う。

参考資料4

保健指導実施内容（例）

継続支援実施状況報告書

保険者	川越市
指導会社	[REDACTED]
支援実施日	[REDACTED]

1. 対象者情報

管理番号	[REDACTED]	対象者名	[REDACTED]
生年月日	[REDACTED]	年齢	[REDACTED]
病期	3期	支援予定回数	2回
喫煙	喫煙歴なし	アルコール摂取	飲酒習慣なし

2. 医療機関情報

[REDACTED]

3. 指示依頼書の内容

[記載年度：2017年]

「糖尿病診療ガイドライン」（日本糖尿病学会）及び保健指導プログラムのとおり実施することが適当である。

4. 健康状態、自覚症状

健康状態：年齢不明：骨粗鬆症、経過観察、高血圧、服薬中、心臓病、ペースメーカー交換のため2020年12月に手術予定

自覚症状：腰痛、目がみえにくく

5. 目標

運動量を増やし、血糖管理を行う。

6. 行動計画、支援内容

[行動計画①]

週2回、ウォーキングを1回10分行う。

[支援内容①][達成度：－]

運動量が少ないことは本人も自覚しているが、本人は運動が好きではなく、運動が長続きしない。「週2回の家庭菜園を行う前に10分程度歩くことを夫と一緒に始めようと思っている。」と自ら話していたため、計画とした。背筋を伸ばして歩くことでウォーキングの効果が上がると説明した。「高い目標だと続かないで少しずつ頑張りたい。」と話し、前向きな様子であった。12月頃にペースメーカー交換の手術予定があると聞き取ったため、術後の運動は医師の指示に従うよう指導し、了承を得た。なお、入院期間など詳細は決まっていないが、退院後に継続して支援を受ける意思はあると聞き取った。

[行動計画②]

食後30分以内に10分程度家事を行う。

[支援内容②][達成度：－]

2019年度の支援では、夕食後に30分程度足踏みをすることを計画としたが、足踏みは続かず、最近は夕食後にゆっくり休んでいることが多いと話していた。食後に有酸素運動を行うことで食後高血糖を防ぐことができると説明し、皿洗いなどの家事を行うことを勧めた。「12月頃に手術を控えているのでHbA1cを上げないように頑張りたい。」と話していた。

[その他]

以前は夕食を午後9時頃に食べていたが、最近は午後6時頃に早めた。就寝時間は変わらず、午後11時頃に寝ている。その影響か、HbA1c7.0%前後のことが多くたが2020年10月14日はHbA1c6.2%へ改善した。食後すぐに寝ると血糖値が上がりやすいことを説明し、今後も継続することを勧めた。

料理が趣味であり、楽しみながら減塩に取り組んでいる。塩分濃度計を用いて、味噌汁を作っている。汁物は塩分が多くなりやすいため、1日1杯程度にすることを勧め、了承を得た。